

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
 Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778長期継続前兆 多数の前兆関係が 8/9± 発生の可能性を示唆
 8/7以前に前兆終息→ 8/9± 発生の可能性 8/7以降前兆継続の場合→ 8月下旬等可能性

前号では八ヶ岳のCH20が顕著特異前兆を示し、3/1.5 極大に対する直前特異 7/14.0 の可能性として、8/9± 発生の可能性有との報告を致しました。

その後、7/21.5に八ヶ岳のCH2.20に直前特異。CH7 が7/24.5に終息等が観測され、現在認識が仮に正しい場合は、多数の前兆関係が 8/9± 発生の可能性を示しています。

本日現在継続中の前兆は、CH21=基線不安定 CH02=断続的特異 CH21は7/23.5に小ピークの可能性有。また7/27.5に高知観測点K1に特異観測。

従って、CH21基線不安定前兆終息は、8/5 ±又は8/6 ±の可能性となります。CH02は、6/28と7/4に小ピークがあるため、これに対する直前特異として、8/2 と8/3 に特異の小ピークを作る可能性があります。従って 8/6~7まで断続的に弱い特異が継続する可能性が考えられます。

これらから、8/7 以前に明確な前兆が終息した場合は、8/9±対応地震発生の可能性が濃厚となります。8/7 以降も前兆が複数継続出現した場合は、08月末等の可能性となります。現状、多数の前兆関係と変化から、8/9± 発生の可能性が十分考えられる状況ですので、ご注意下さい。8/7以降顕著に前兆が継続した場合は続報で再考予定です。

- ◆推定領域：右図斜線領域内=可能性考え易い
 (※若干推定領域を修正致しました)
- ◆推定規模：M7.8 ± 0.5
- ◆推定時期：最も早い可能性 = 8月9日 ± 1日
 (8/7 以降前兆継続の場合は再考)
- ◇推定地震種：日本列島陸域地殻地震
 震源浅い地震 火山にやや近い可能性有
- ◇推定発生時刻：午前9時30分 ± 1時間半
 または 午後4時 ± 3時間

※各項目根拠等は続報No.266 資料参照

